

地域産業資源活用事業の促進 に関する基本的な構想

平成19年8月

沖縄県

地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想

地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

1. 地政学的、歴史・文化的特徴

本県は、東西1,000km、南北400kmに及ぶ広大な海域に散在する大小160(有人島39)の島嶼からなる県であり、亜熱帯・海洋性気候のもと、年間を通じて温暖な気候にある。このような自然環境により、他都道府県にはない独特の自然景観や生物多様性を有している。また、県内各地に残る伝統文化は、独自に築いてきた地域生活史があり、それらに基づいたハーリー、エイサー、祭祀、島唄・踊り、空手など、個性豊かな伝統文化が継承されている。

歴史的には、琉球王朝時代に日本、中国、朝鮮及び東南アジア諸国と盛んに交流し、東アジアの交易拠点として発展し、各国の要素を取り入れ独自の文化を築いてきた。一方、戦後はアメリカ統治下において、基地の集中とともに基地依存型の経済体系が構築される反面、ロック音楽や欧米の生活スタイルといった新たな文化面での融合を経験してきた。このような経緯により、沖縄は多様な文化を受け入れる包容力と国際性を有する地域としての特質を兼ね備えている。

なお、沖縄県はこれまでも、地政学的位置や歴史的経緯等から、わが国と東南アジア諸国の接点として国際社会に貢献できる地域をめざしてきたところであり、現在、世界トップクラスの科学技術系の沖縄科学技術大学院大学の設置、国が推進する「アジア・ゲートウェイ構想」の主要拠点としての取組を進めており、海外への発信力・アジア地域のハブ機能としてのポテンシャルが高い地域である。

2. 県内産業の概況

平成16年度の県内総生産額は3兆5,721億円。総生産額に占める各産業の割合は国と比べ第2次産業は低く(全国27.9%、県12.7%)、第3次産業が高い(全国74.6%、県89.5%)のが特徴となっている。産業別に見るとサービス業(31%)、卸売・小売業(12%)の割合が高い。

なお、県内企業に従事する者のうち約90%が中小企業の従業者である。平成18年沖縄県事業所・企業統計(速報)によると、本県は従業員19人以下の中小零細企業が全体の約93%となっているが、これらが地域経済・雇用を支えていることから、これら企業の取り組みを支援し活性化することは、本県の地域経済活性化並びに自立型経済の構築において極めて重要である。

(1) 観光業・商工業等の概況

本県は、わが国唯一の亜熱帯・海洋性気候風土のもと、恵まれた自然景観、独特の文化や歴史など魅力的な観光資源を有し、観光リゾート地として高く評価され、国・内外から多くの観光客が訪れている。

平成18年の観光客数は563万7千8百人となっており、ここ数年過去最高を記録している。

一方観光収入は、4,104億円と過去最高を記録したものの旅行商品の低価格化の傾向等を受け、伸び悩んでいる。沖縄観光に対する需要の増加、ニーズの多様化を受け、国際観光の推進、コンベンションの誘致、リゾートショッピング、体験・滞在型観光など、より質の高い商品を提供する動きが広がっている。

製造部門では平成17年の製造品出荷額は約5,144億円となっており、業種別の構成比は石油製品27.9%、食料品24.7%、飲料・たばこ12.6%、窯業・土石10.9%となっている。食料・飲料関係の製造業が大きなウエイトを占めており、従来の食品・飲料製造業の他、近年の健康志向に対応して高付加価値製品の製造や、沖縄特有の資源に関するバイオ関連の研究開発が進んでいる。また、本県では織物や琉球びんがた、陶器など13品目が伝統的工芸品に指定されており、全国でも3番目に多い指定品目数となっている。伝統工芸品関連産業は体験型観光としての事業展開や観光土産品として様々な製品開発もされており、県の重要な産業である。その他の製造部門については、県内の特色のある企業が「元気なモノ作り中小企業300社」に選定されている。

卸売業・小売業の平成16年の年間販売額は約2兆4,851億円で、その中で食料・飲料関係の割合が高くなっている。大型店舗の進出等により中小小売店舗が大きな影響を受け、中心市街地の活性化、空き店舗対策が課題となっているが、那覇市国際通り4商店街ではトランジットモール(歩行者に配慮して、一般の車両を規制し、公共交通機関だけが通行できるようにした商店街)を実施して来街者の増加を図り、「がんばる商店街77選(経済産業

省 中小企業庁編)」に選定された。

(2) 農林水産業の概況

沖縄県の農林水産業は、我が国唯一の亜熱帯地域の特性を生かして、さとうきび、野菜、花き、果樹、肉用牛、モズク等の生産が多様に展開されている。農林水産業(第一次産業)が県内総生産に占める割合は1.9%で、国の1.7%を僅かに上回っている。平成17年の農業産出額は905億円、林業産出額が7億円、漁業生産額が189億円となっている。農業産出額を作目別の構成比で見ると、肉用牛17.5%、さとうきび15.8%、花き14.3%、豚13.4%、野菜12.8%、果樹6.6%となっている。

さとうきびは本県の基幹作物として本県全域で栽培されており、平成17年の作付面積は全体の約55%、栽培農家戸数は約70%を占めている。

園芸作物では、温暖な自然条件を活かし、主に本土の端境期における冬春期の野菜、花きの施設栽培や夏場の熱帯果樹生産が行われている。野菜は、さやいんげん、ゴーヤーなどを中心に県外大消費地向けの供給産地として定着しており、花きについては、生産農家や出荷団体等の意欲的な取組と産地育成により、きくを中心に着実に生産を増加してきた。また、果樹では、リゾート沖縄を象徴するマンゴーや近年出荷量の伸びているシークワサー等が生産されている。

畜産では、平成17年の畜産産出額が393億と農業産出額の約43%を占め、本県農業の基幹部門に発展している。特に肉用牛は、全国有数の子牛生産地であるとともに、琉球在来豚アグーを活用した肉豚など優れた肉質を持つブランド豚の生産も伸び始めている。

林業ではリュウキュウマツなどを素材とした集成材、フローリング材などの木材利用とともに、食用きのこ、木炭などの特用林産物の生産が行われている。

水産業では、全国一の生産量を誇る沖縄県産モズク(全国の約99%を生産)、ソデイカ(同約60%)、クルマエビ(同約40%)などの産物がある。他に、マグロ類の水揚げは県内全漁獲量の過半(約54%)を占めるなど本県水産物の中核をなしており、また近年、海ぶどうの生産量が伸びている。

3. 県内地域産業資源の概況及びその活用に当たっての考え方

(1) 県内地域産業資源の概況

本県には、さとうきび、ゴーヤー、パインアップル、マンゴー、シークワサー、もずく、海ぶどう、県産和牛、琉球在来豚アグー等、全国にも沖縄特産品とのイメージを持たれている農林水産物や、泡盛、琉球びんがた、琉球漆器、琉球絣、壺屋焼等の鉱工業品及びそれに係る技術並びに世界遺産にも登録された琉球王国のグスク及び関連遺産群をはじめとした沖縄独特の歴史・文化資源、亜熱帯の美しい海や、やんばる地域、西表島及び慶良間諸島の陸域の豊かな自然環境などの観光資源といった、他地域にはない特色ある地域産業資源が数多く存在している。

これらの地域産業資源を活用した先進的な事例としては、読谷村で紅いもを活用して菓子製造を行い、当初4名で始めた事業が280人を超え、売上高25億の企業に成長したという事例があげられる。現在、読谷村も協力し紅いもを地域ブランド化する取組を進めており、県内の先導的事例になっている。

(2) 地域産業資源活用に当たっての考え方

本県観光は、美しい海と亜熱帯の豊かな自然、沖縄独特の歴史・文化等、本県の地域特性を活かして、順調に推移している。観光関連産業は沖縄県のリーディング産業であり、他の産業への波及効果が高いことから、地域産業資源を活用した魅力ある観光地づくりを行うとともに、観光土産品の商品開発、県産食材の活用促進など、産業間の連携強化の取組を進めているところである。

ものづくり産業にあっては、これまでの間、沖縄総合事務局経済産業部が主導するOKINAWA型産業振興プロジェクトとの連携により、沖縄県では各企業間の連携について取り組んできた。また、豊富な熱帯植物資源等を有効活用するため、バイオ関連産業の集積に向けた研究開発支援や産学官連携事業にも取り組んできたところであり、これらの連携策により企業の新製品開発に対する意欲の向上も見られてきたところである。なお、最近では、沖縄総合事務局農林水産部が主導する沖縄食料産業クラスター協議会を中心とした食品関連企業間の連携も進められている。

また、離島地域の活性化のため、行政が主体となって地域産業資源を活用した特産品・ブランド品創出の事業(美ら島ブランド創出事業、一島一物語事業)に取り組んできたところであり、このような取組が地域・離島の産業振興に効果があると認識しているところである。

これらの取組を引き継いで、今後、更に地域経済の活性化・自立化を図るためには、地元・企業等が中心となって様々な地域産業資源を活用し、創意ある事業展開や新規事業・

役務の創出を促進し、地域イノベーションの創出や魅力ある地域づくりを目指していく必要がある。

観光産業においては、質の高い沖縄観光の実現に向け、優位性のある地域産業資源を活用した魅力ある観光まちづくりの取組を進めるため、付加価値の高い観光プログラムの開発、ガイド、コーディネーター及びマネージャー等の観光人材の育成、プログラム実施に必要な環境整備などが必要である。なお、観光プログラムの促進に当たっては、重要な資源である自然環境、文化財等の保全と観光振興の両立を図る必要がある。

また、地域産業資源を活用した製品・サービス等について、ブランド化や地域団体商標登録を促すために業界団体等による知的財産の活用・保護や品質保証(エビデンス)の確立に向けた取組を支援し、官民一体となって、地域産業資源を活用した高付加価値の製品・サービスを県外に発信し、新たな需要開拓に結びつけていく必要がある。なお、民間主導による地域活性化・自立経済を構築するためには、将来的にこれらの取組を業界団体等が自らの力で行えるような体制を整えることも必要である。

さらに、大学、試験研究機関等や沖縄TLOの活用によって産学官連携を促進することにより、まだ掘り起こしされていない生物・海洋資源等の新たな地域産業資源の発掘を進めるとともに、産業クラスターの更なる拡大やイノベーション創出促進、そしてアジア交流拠点の構築へ繋がる取組へ広げていく。

以上のように、地域産業資源を積極的に活用することにより、新事業創出及び既存産業の振興等による雇用が創出され、失業率の改善に寄与するよう、沖縄県では地元中小企業及び関係組合団体・関係行政機関等との協力の下、地域産業資源の活用を進めて行く。

・地域産業資源の内容

当県において、その産業資源を活用した事業を促進する意義があると考えられる資源は以下のとおりである。

(1) 農林水産物

名 称	地域産業資源に係る地域
さとうきび	沖縄県全域
沖縄島野菜	沖縄県全域
水稲	沖縄県全域
もちきび	沖縄県全域
甘しょ	沖縄県全域
シークワサー	沖縄県全域
タンカン	沖縄県全域
マンゴー	沖縄県全域
パインアップル	沖縄県全域
パパイア	沖縄県全域
パッションフルーツ	沖縄県全域
ドラゴンフルーツ(ピタヤ)	沖縄県全域
アセローラ	沖縄県全域
バナナ	沖縄県全域
島とうがらし	沖縄県全域
ヒハツモドキ	沖縄県全域
ハイビスカス(ローゼルを含む)	沖縄県全域
ソテツ	沖縄県全域
茶	沖縄県全域
豚	沖縄県全域
和牛	沖縄県全域
ヤギ	沖縄県全域
乳牛	沖縄県全域
リュウキュウマツ	沖縄県全域
タイワンハンノキ	沖縄県全域

ヤエヤマアオキ	沖縄県全域
マングローブ(その構成樹種)	沖縄県全域
薬用作物	沖縄県全域
ハブ	沖縄県全域
サンゴ	沖縄県全域
モズク	沖縄県全域
海ぶどう	沖縄県全域
アーサ	沖縄県全域
マグロ	沖縄県全域
ソデイカ	沖縄県全域
クルマエビ	沖縄県全域

沖縄島野菜：イーチョーバー(ういきょう)、ウンチェー(ようさい)、オオタニワタリ、クワンソウ(あきのわすれぐさ)、ゴーヤー(にがうり)、サクナ(ぼたんぼうふう)、シカクマメ、シブイ(とうがん)、シマナー(からしな)、タイモ(みずいも)、チシャナバー(かきちしゃ)、ナーベラー(へちま)、ニガナ(ほそぼわだん)、ノビル(のびる)、ハンダマ(すいぜんじな)、フーチバー(にしよもぎ)、フーロー豆(じゅうろくささげ)、モーウイ(きゅうり)、ヤマン(だいじょ)、ンスナバー(ふだんそう)、八重山カズラ、島らっきょう、島カボチャ、島ダイコン、島ニンジン、紅いも(さつまいも)、葉ニンニク、野菜パパイア

薬用作物：ウコン、アロエ、クミスクチン、グァバ、月桃、ヤエヤマアオキ、ボタンボウフウ(別名：長命草)、ピデンス・ピローサ

サンゴ：新製品開発の原料として活用する「サンゴ」は養殖サンゴの活用に限る。

(2) 鉱工業品及び鉱工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源に係る地域
琉球泡盛	沖縄県全域
琉球びんがた	沖縄県全域
琉球漆器	沖縄県全域
喜如嘉 <small>きじょか</small> の芭蕉布 <small>ほしょうふ</small>	沖縄県全域
読谷山 <small>よみたんざん</small> 花織	沖縄県全域
読谷山 <small>よみたんざん</small> ミンサー	沖縄県全域
久米島 <small>くめしま</small> 紬 <small>むぎ</small>	沖縄県全域
宮古上布	沖縄県全域

八重山上布	沖縄県全域
八重山ミンサー	沖縄県全域
与那国織 <small>よなくにあり</small>	沖縄県全域
首里織	沖縄県全域
琉球絣	沖縄県全域
八重山交布	沖縄県全域
南風原花織 <small>なえばる</small>	沖縄県全域
知花花織 <small>ちばな</small>	沖縄市
豊見城ウージ染め <small>とみぐすく</small>	豊見城市
琉球焼	沖縄県全域
壺屋焼 <small>うぼや</small>	沖縄県全域
琉球ガラス	沖縄県全域
琉球楽器	沖縄県全域
沖縄黒糖	沖縄県全域
沖縄の塩	沖縄県全域
沖縄の豆腐(島豆腐・ゆし豆腐)	沖縄県全域
琉球料理	沖縄県全域
海洋深層水	沖縄県全域
クチャ(泥岩)	沖縄県全域
赤土	沖縄県全域
赤瓦	沖縄県全域
シーサー	沖縄県全域
かりゆしウェア	沖縄県全域

沖縄黒糖：地域団体商標登録を受けた「沖縄黒糖」及びその製造技術(手法)

琉球楽器：三線、三板、胡弓、太鼓、箏、笛

(3)文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名 称	地域産業資源に係る地域
やんばるの森	国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、名護市、宜野座村、金武町、恩納村
沖縄のビーチ	沖縄県全域
沖縄海岸国定公園	国頭村、大宜味村、今帰仁村、名護市、恩納村、読谷村、

	渡嘉敷村、座間味村
沖縄戦跡国定公園	糸満市、八重瀬町
西表石垣国立公園	竹富町、石垣市
渡名喜県立自然公園	渡名喜村
久米島県立自然公園	久米島町
伊良部県立自然公園	宮古島市
琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県全域
グスク	沖縄県全域
御嶽(拝所)	沖縄県全域
カー・ガー(取水所)	沖縄県全域
幸地腹・赤比儀腹両門中墓	糸満市
伊江御殿墓	那覇市
摩文仁家の墓	南風原町
大城按司の墓	南城市
伊祖の高御墓	浦添市
唐人墓	石垣市
豊見親墓	宮古島市
多良間島の土原豊見親のミャーカ	多良間村
小禄墓	宜野湾市
アマミチューの墓	うるま市
スムリャーミャーカ	宮古島市
百十踏揚の墓	南城市
浦添ようどれ	浦添市
佐敷ようどれ	南城市
伊是名玉御殿	伊是名村
遠見台	沖縄県全域
石畳道	沖縄県全域
石垣氏庭園	石垣市
伊江殿内庭園	那覇市
福州園	那覇市
蔵元(琉球王府時代の行政庁)及び番所跡	沖縄県全域

リン鉱石貯蔵庫跡	北大東村
円覚寺跡	那覇市
崇元寺跡	那覇市
末吉宮跡	那覇市
猪垣	大宜味村
石彫獅子	沖縄県全域
川平湾及び於茂登岳	石垣市
下地島の通り池	宮古島市
塩川	本部町
喜屋武海岸及び荒崎海岸	糸満市
轟の滝	名護市
伊江村の城山	伊江村
宜野湾市森の川	宜野湾市
万座毛	恩納村
久部良バリー帯	与那国町
サンニヌ台	与那国町
ティンダバナ	与那国町
山下第一洞穴	那覇市
山川垣内権現洞穴遺跡	本部町
伊江島のゴヘズ洞穴遺跡	伊江村
カダ原洞穴	伊江村
くまや洞窟	伊平屋村
中野の北泉洞	北大東村
星野洞	南大東村
洞寺(ドウデラ)鍾乳洞	粟国村
伊原間鍾乳洞・サビチ洞	石垣市
石垣島鍾乳洞	石垣市
ニャティヤ洞	伊江村
玉泉洞	南城市
普天間宮洞穴	宜野湾市
金武観音寺鍾乳洞	金武町

ノグチゲラ生息地・飼育地	沖縄県全域
イリオモテヤマネコ生息地・飼育地	沖縄県全域
カンムリワシ生息地・飼育地	沖縄県全域
ジュゴン生息地・飼育地	沖縄県全域
セマルハコガメ生息地・飼育地	沖縄県全域
ダイトウオオコウモリ生息地・飼育地	沖縄県全域
ヤンバルクイナ生息地・飼育地	沖縄県全域
ヤンバルテナガコガネ生息地・飼育地	沖縄県全域
ケラマジカ生息地・飼育地	沖縄県全域
ヨナグニサン生息地・飼育地	沖縄県全域
宮古馬生息地・飼育地	宮古島市
チャーン生息地・飼育地	うるま市
クメジマボタル生息地・飼育地	沖縄県全域
琉球犬生息地・飼育地	南風原町
与那国馬生息地・飼育地	沖縄県全域
松風苑(金城哲夫氏の生家)	南風原町
竹富島重要伝統的建造物群	竹富町
渡名喜島重要伝統的	渡名喜村

建造物群	
尚円王生誕地屋敷内「みほそ所」	伊是名村
木造カーラヤー(赤瓦屋根家)	沖縄県全域
フクギ並木	沖縄県全域
新盛家住宅	竹富町
沖縄の空手・古武術	沖縄県全域
沖縄音楽(古典民謡音楽、ニューミュージックを含む)	沖縄県全域
組踊(現代版組踊を含む)	沖縄県全域
沖縄の伝統舞踊	沖縄県全域
沖縄民俗芸能・祭祀	沖縄県全域
エイサー	沖縄県全域
闘牛	沖縄県全域
ハーリー	沖縄県全域
沖縄の市場	沖縄県全域
北谷美浜アメリカンビレッジ	北谷町
コザのまちなみ(アメリカ文化の影響を受けたまちなみ)	沖縄市
金武新開地のまちなみ(アメリカ文化の影響を受けたまちなみ)	金武町
辺野古地区のまちなみ(アメリカ文化の影響を受けたまちなみ)	名護市
第2次世界大戦関連の史跡(戦跡)・資料館	沖縄県全域
さとうきび畑	沖縄県全域
沖縄島野菜畑	沖縄県全域
水田(水稻)	沖縄県全域

もちきび畑	沖縄県全域
甘しょ畑	沖縄県全域
シークワサー樹園地	沖縄県全域
タンカン樹園地	沖縄県全域
マンゴー樹園地	沖縄県全域
パインアップル樹園地	沖縄県全域
パパイヤ樹園地	沖縄県全域
パッションフルーツ樹園地	沖縄県全域
ドラゴンフルーツ樹園地	沖縄県全域
アセローラ樹園地	沖縄県全域
バナナ樹園地	沖縄県全域
島とうがらし植生地	沖縄県全域
ヒハツモドキ植生地	沖縄県全域
ハイビスカス(ローゼルを含む)植生地	沖縄県全域
ソテツ自生地	沖縄県全域
茶畑	沖縄県全域
豚の飼育地	沖縄県全域
和牛の飼育地	沖縄県全域
ヤギの生息地・飼育地	沖縄県全域
乳牛の飼育地	沖縄県全域
リュウキュウマツ自生地・植林地	沖縄県全域
台湾ハンノキ自生地・植林地	沖縄県全域
ヤエヤマアオキ自生地・植林地	沖縄県全域
マングローブ自生地・植林地	沖縄県全域
薬用作物畑	沖縄県全域
ハブ生息地・飼育地	沖縄県全域
サンゴ生息地・養殖地	沖縄県全域
モズク植生地・養殖地	沖縄県全域

海ぶどう植生地・養殖地	沖縄県全域
アーサ植生地・養殖地	沖縄県全域
マグロ生息地・養殖地	沖縄県全域
ソデイカ生息地	沖縄県全域
クルマエビ養殖地	沖縄県全域
琉球泡盛工場・酒造所・酒蔵・貯蔵所・これらの跡地	沖縄県全域
琉球びんがた製作所・工房	沖縄県全域
琉球漆器製作所・工房	沖縄県全域
喜如嘉の芭蕉布製作所・工房	沖縄県全域
読谷山花織製作所・工房	沖縄県全域
読谷山ミンサー製作所・工房	沖縄県全域
久米島紬製作所・工房	沖縄県全域
宮古上布製作所・工房	沖縄県全域
八重山上布製作所・工房	沖縄県全域
八重山ミンサー製作所・工房	沖縄県全域
与那国織製作所・工房	沖縄県全域
首里織製作所・工房	沖縄県全域
琉球絣製作所・工房	沖縄県全域
八重山交布製作所・工房	沖縄県全域
南風原花織製作所・工房	沖縄県全域

知花花織製作所・工房	沖縄市
豊見城ウーヂ染め製作所・工房	豊見城市
琉球焼製作所・工房・焼窯・これら跡地	沖縄県全域
壺屋焼製作所・工房・焼窯・これら跡地	沖縄県全域
琉球ガラス工場・製作所・工房・これらの跡地	沖縄県全域
琉球楽器製作所・工房・教室	沖縄県全域
沖縄黒糖工場・製造場所・これらの跡地	沖縄県全域
沖縄の塩工場・製造場所・これらの跡地	沖縄県全域
沖縄の豆腐(島豆腐・ゆし豆腐)工場・製作所	沖縄県全域
琉球料理提供施設	沖縄県全域
海洋深層水取水施設・利用施設	沖縄県全域
クチャ(泥岩)産出場所	沖縄県全域
赤土産出場所	沖縄県全域
赤瓦の製作所・工房・風景	沖縄県全域
シーサー製作所・工房・風景	沖縄県全域
かりゆしウェア製作所・工房	沖縄県全域

沖縄のビーチ: 沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全の確保等に関する条例で届出のされている海水浴場

沖縄音楽：各古典民謡音楽、沖縄民謡、沖縄ロック

・地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を促進する方策

1. 地域産業資源に係る地域の経済の活性化を促進する方策

(1) 地域産業資源の活用を促進するための措置等

地域産業資源を活用した事業の促進により、地域経済の活性化や雇用の創出が図られる。また、当該地域産業資源及びそれらを使った商品・サービスのブランド化や魅力ある地域づくり・観光まちづくり促進等への効果が期待される。

地域産業資源活用事業を促進し事業者が積極的に新規需要開拓や観光地の魅力を高めるためには、行政や支援機関、事業者(団体)の連携により事業効果を高める仕組みを作る必要がある。そのためには、

地域産業資源としての有効価値の再認識(新しい地域産業資源の掘り起こし)

地域産業資源及び地域産業資源活用事業に係る情報や知識の蓄積・共有化

地域の主体となるリーダーや事業者を支援育成するマネージャーの育成

地域産業資源を活用した調査・研究開発の成果を着実に事業化・製品化へつなげるための支援

産学官連携・産業クラスター形成促進や県内外のネットワークの構築

地域産業資源を核としたブランド戦略の構築(地域自体や商品・サービスのブランド化促進)及び情報の送受信、並びに情報発信力の向上

地域産業資源を総合的に活用した観光まちづくり(推進組織の立ち上げ、資源価値の向上、生活環境との調和、来訪者の満足度確保のための取り組み)に対する支援

が必要である。地域産業資源の活用促進に係る方策については、これらの各項目について取組を進めていく。

(2) 既存計画等との連携

本県では、沖縄振興計画や分野別計画に基づく個別事業・施策展開の中で地域産業資源を活用した取組を行っており、地域産業資源を活用した事業を促進することによって、これらの計画・施策が効果的・効率的に進められると考えている。分野別計画に示された地域産業資源活用の方向性としては、次があげられる。

観光振興計画

沖縄の持つ温暖な気候や豊かな自然環境、健康長寿に適した生活環境等の地域特性を活かした健康保養型観光、自然環境の保全と地域振興が調和したエコツーリズム、その他、地域特有の自然、文化、歴史などの資源を活用したグリーンツーリズム、文化交流型観光、体験滞在・交流などを促進することにより、観光地としての魅力を増進する。

外客来訪促進計画

沖縄県の外客来訪促進計画に規定されている、「外客来訪促進地域」(県全域)において、外国人観光客にアピールする観光資源を活用し、魅力ある観光地を形成していく。

農林水産振興計画

亜熱帯の地域特性を生かし、戦略品目(園芸作物、肉用牛、木材、養殖魚介類など)や安定品目(さとうきび、酪農など)の生産供給体制を強化するとともに、機能性に優れた伝統的農産物や水産物などに着目した加工品の開発による高付加価値化やグリーンツーリズムなど都市と農山漁村の体験交流を促進し、本県農林水産業の活性化を図る。

産業振興計画

本県の持つ「健康」のイメージや本県特有の生物資源や地域特性を活用した「オキナワ型産業」の戦略的展開に取り組む。また、新規事業の創出を促進するため産学官連携促進やベンチャー企業支援を行う。

新沖縄県離島振興計画

本県の離島は、地理的な不利性がある反面、亜熱帯・海洋性気候の下、年間を通して温暖で、美しいサンゴ礁の海に代表される豊かな自然に恵まれ、独特な伝統文化を有するなど、地域特性を生かした振興策を推進する上で有力な資源を有している。

このため、住民の創意と地域特性を生かした農林水産業の振興をはじめ、豊かな自然、独特な文化等を活用した個性ある観光・リゾート産業の振興、観光・リゾート産業と連携した製造業や伝統工芸産業等特色ある産業の振興を図り、地域経済の活性化を促進する。

2. 現在取り組んでいる施策の状況

(1) 個別地域産業資源に関する施策

本県では、歴史・文化的な特徴、亜熱帯地域という特性から、次のような地域産業資源の発掘・強化及び地域産業資源を活用した地域振興事業を行っている。

〈農林水産物〉

グリーン・ツーリズム総合支援事業

農山漁村の多面的機能を活かし、都市との交流を通じて、経済と環境が融合した持続性のある社会体系の構築を図る

モズク安定供給等対策事業

生産及び価格安定、需要拡大のため、養殖技術の改良・普及や販路拡大を実施。

養殖魚ブランド化支援事業

熱帯性魚類であるヤイトハタをおきなわブランドとして育成し、養殖業振興と地域経済の活性化を図る

おきなわブランド豚作出事業

優れた肉質を持つ琉球在来豚「アグー」のブランド化と生産供給体制の構築を図る。

うちなー島ヤサイ振興対策事業

沖縄独特の伝統ヤサイ(島ヤサイ)の生産、流通体制を構築し振興を図る。

さとうきび総合利用実証事業

ケーンセパレーションシステムによって、さとうきびを部位別に分取し、分割された素材毎に有用成分の抽出及び新製品の開発を行う。

〈鉱工業関連〉

中小企業新事業総合支援事業(地域資源発掘支援事業)

地域資源を発掘するためワークショップ開催や支援機関を活用し、事業化を促進する。

工芸品宣伝普及事業

県内外に宣伝普及を図るとともに、生産者の技術・デザイン開発力の向上を図る。

バイオベンチャー企業研究開発支援事業

地域資源を有効に活用し発展可能性の高い有望な研究開発企業への支援を行う。

沖縄イノベーション創出事業

本県の資源や特性を活用した新事業の創出及び既存産業の高度化を促進することを目的に、県内企業と試験研究機関等の連携による共同研究プロジェクトに対する支援や県内企業と研究者とのマッチングを図る。

〈観光および複合施策〉

観光まちづくり支援事業

観光がリーディング産業として、今後とも持続的に発展していくためには、優位性のある観光資源を活用した魅力ある観光地づくりが不可欠であることから、広域的な観点から各地域の取組を促進・支援するための、指針を策定し、県が支援を行うべき内容等について検討する。

沖縄における環境保全型観光促進モデル事業

沖縄の貴重な観光資源でもある自然環境の保全と観光振興の両立を図るため、モデル地域(玉辻山、仲間川)において、「フィールドの保全方法」、「適切なルール」、「産学官連携による環境保全体制」等によるフィールドの保全体制を確立する。

離島地域資源活用・産業育成事業(一島一物語事業)

離島活性化のために、島の歴史や特色を生かした「一島一物語」との考え方のもと、離島地域資源を活用した地域産業の活性化の事業を支援する。

沖縄離島振興特別対策事業

離島地域を対象に、地域活性化に資する特産品加工施設などへの支援を行う。

(2) 関連する施策

本県においては、中小企業の新たな事業活動促進のため「沖縄県事業環境整備構想」を策定している。また、現在、知的財産戦略の制定に向けて部局横断的な取組を進めており、地域ブランド化に資する資源の活用についても積極的に進めていくこととしている。

なお、県内経済の活性化を図るため、以下の中小企業支援施策を実施している。

金融面での支援

地域特性を活かした比較優位性ある産業「オキナワ型産業」を担う中小企業者、協同組合等の事業活動に必要な資金を融資することで、本県産業の内発的な発展を促し、活力ある民間主導の自立型経済構築の促進に寄与する。

経営指導の強化

県内中小企業の大部分を占める小規模事業者の経営・技術を改善し、発達を促進するため、商工会、商工会議所等で金融、税務、労働、取引、経理等の相談・指導等を中心とした経営改善普及事業を行っている。

経営革新の促進

企業の経営革新を推進するために必要な設備の貸与や税制措置等の利用資格を付与するとともに、販路開拓や人材育成等の事業に対し助成を行っている。

企業連携の推進

OKINAWA型産業振興プロジェクトによる産業クラスター形成促進のほか、新連携促進施策等について、沖縄総合事務局経済産業部と協働して取り組んでいる。

技術支援(産学官連携による研究開発支援等)

沖縄の優位性を活かした研究開発を活性化し、その成果を活かした新事業の創出を図るため、沖縄イノベーション創出事業やバイオベンチャー企業研究開発支援事業などを行っている。また、工業技術センター等による県内企業の技術力向上や技術指導を行っているほか、農業研究センターにおいて天敵害虫を活用した生物農薬の開発・特許取得し県内企業への技術移転等を行うなど、本県の産業振興に向けた研究等に取り組んでいる。

IT化支援

県内中小企業の経営の効率化及び生産性向上のため、企業のIT化を支援する為の取組を、(財)沖縄県産業振興公社において実施している。

人材確保・育成支援

県内団体により、高度経営人材育成支援事業や情報産業核人材育成支援事業等の人材育成事業を実施するとともに、中小企業大学校人吉校の講師招聘による沖縄教室開設に協力するなど、地場産業や戦略的に支援する産業の人材育成を進めている。

中小企業の経営資源確保のための総合的支援

経営革新を図る中小企業者等や創業を目指す者に対し、(財)沖縄県産業振興公社内の中小企業支援センターを中心として、ワンストップサービスを実施している。支援内容としては、プロジェクトマネージャーを配置し相談業務を行うことはもとより、豊富な知識を持つ経営者等による事業可能性評価や専門家派遣による経営診断等の実施や各種支援機関と連携し、支援体制を整えている。